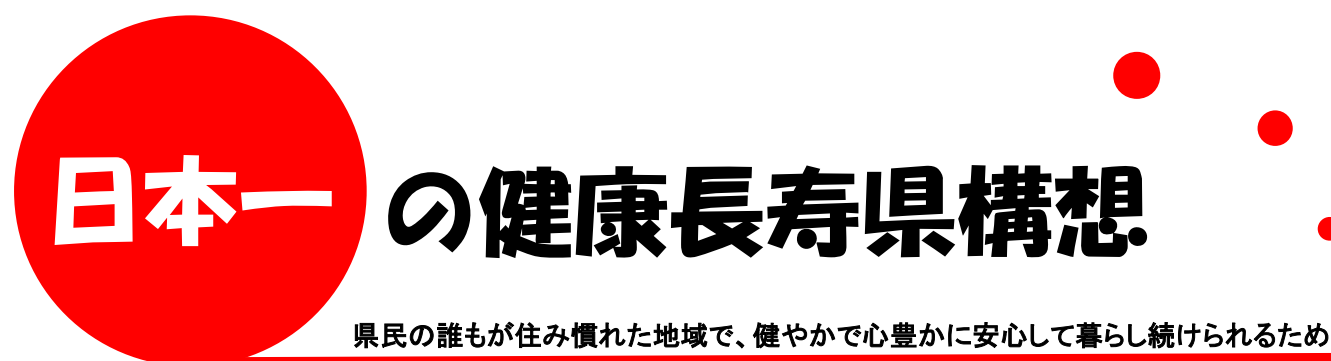


令和8年度 第1回 日本一の健康長寿県構想推進会議

協議資料



政策目標

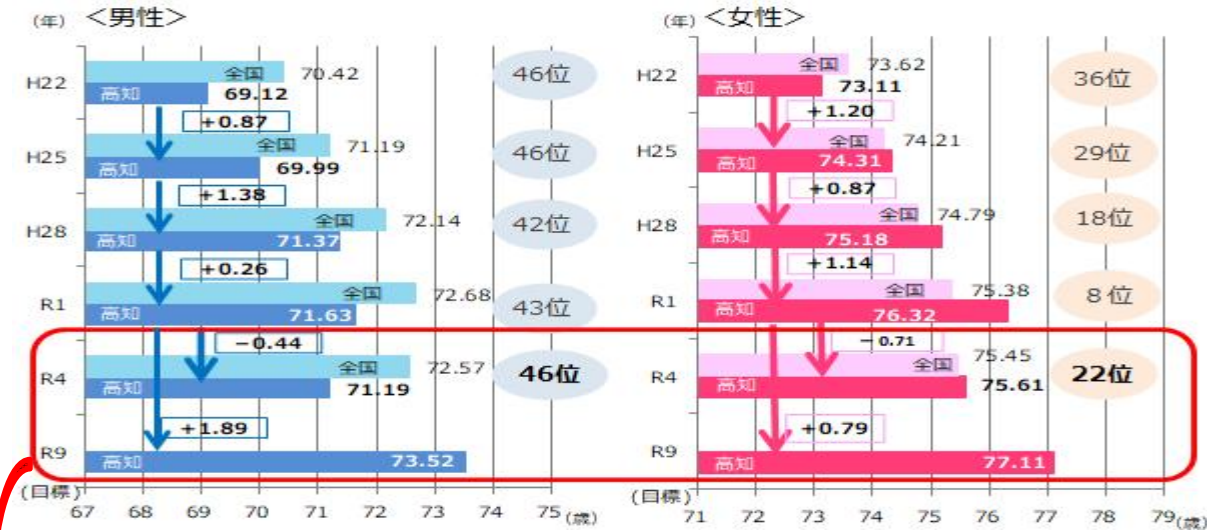
健康寿命の延伸（R元→R9）

男性 R元 71.63年 → R9 73.52年（1.89年以上の延伸）
女性 R元 76.32年 → R9 77.11年（0.79年以上の延伸）

評価

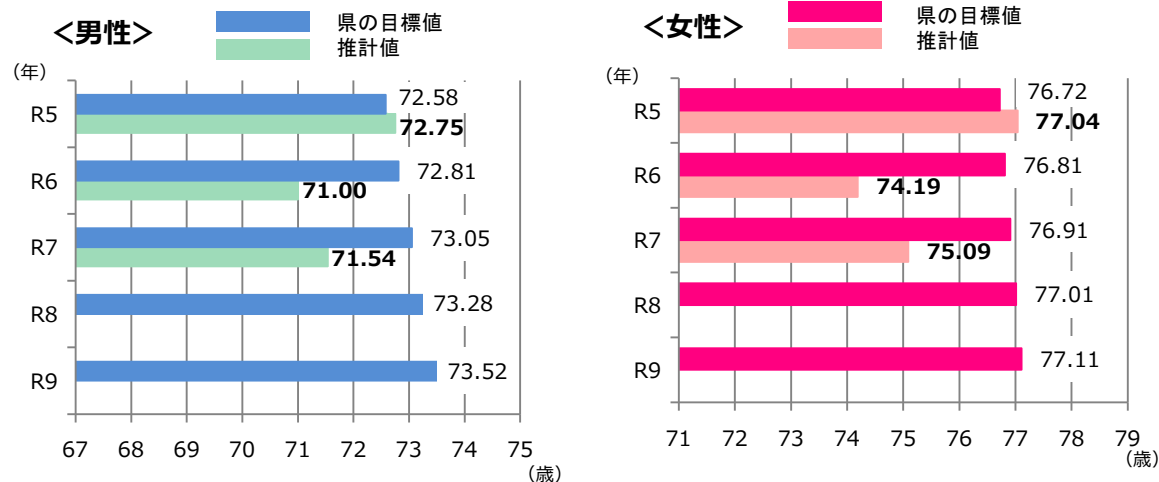
男性 **D** R4の健康寿命は、**男女ともR1を下回っている**。
女性 **A** 女性は全国平均を上回っているが、**男性は全国との差が広がっている**。
R4は、**新型コロナウイルス感染症の影響が反映された結果、健康寿命と平均寿命が全国的に下がったもの**と考えられる。

（高知県の健康寿命の推移）



分析・達成見込

（国民生活基礎調査の次回公表がR9年度になるため、県民世論調査に基づき独自に推計値を算出）



・R5は新型コロナウイルス感染症が5類へと変更されたことにより、それまでの健康上（精神的健康や保健行動上）の不安が改善された可能性がある
・R6からR7への健康寿命の伸びは、男女ともに壮年期の死亡率の改善と相関関係がある。

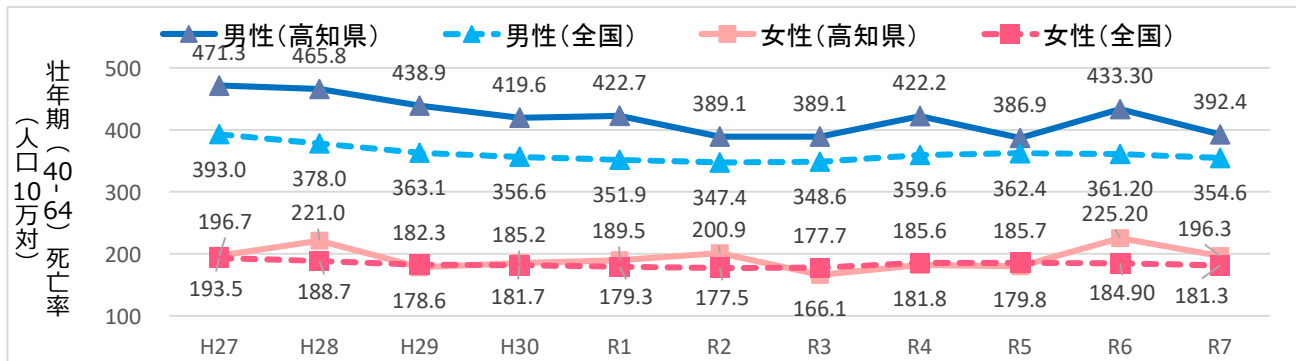
今後、壮年期死亡率が順調に改善することで、目標に近づく可能性がある

主な目標の達成状況

<死亡率> 壮年期（40-64歳）男性の死亡率の改善 ※人口10万対（R4→R9）
R4：426.8（全国359.6） → R9：全国平均値以下

評価

男性 **B** R7の壮年期の粗死亡率は、**男女とも前年度を下回った**。また、男女ともに全国平均よりも高いものの、**改善が見られる**。
女性 **B** **R7はR6より男性の循環器病の死亡者数が減っている**（98人⇒86人）



※人口動態調査と人口推計をもとに保健政策課で試算（速報値）

R2以降の壮年期男性の粗死亡率において、本県が全国より増加スピードが速いということはない。また、ここ数年の死亡率の上下は、波の範囲内と言ってよい

疾病の重症化予防

<死亡率> 脳血管疾患 人口10万人対 年齢調整死亡率

評価

男性 **B** 男女ともR2の死亡率より改善しており、**全国平均との差も縮まったが、男性は依然として全国平均を上回っている**。
女性 **A**

	R2高知		高知県	全国	差
男	100.42	R6	102.94	87.69	15.25
		R7	90.30	84.30	6.00
女	53.20	R6	53.47	51.16	2.31
		R7	49.50	49.50	0

人口動態調査を基に算出（速報値）

<死亡率> 虚血性心疾患 人口10万人対 年齢調整死亡率

評価

男性 **B** 男女とも前年に続きR2の死亡率より改善しており、**男性は全国平均との差が縮まった**。
女性 **C**

	R2高知		高知県	全国	差
男	75.80	R6	75.00	70.53	4.47
		R7	68.60	66.40	2.20
女	36.66	R6	28.56	27.00	1.56
		R7	29.70	24.80	4.90

人口動態調査を基に算出（速報値）

・脳血管疾患については、男女ともに順調に改善している
・虚血性心疾患については、男性は順調に改善している。女性の増加は、75歳以上の狭心症など冠動脈疾患の重症化が要因である

バージョンアップの方向性

【全国より高い壮年期男性の死亡率の改善に向けて、事業所における健康づくりを推進】

- 壮年期男性の多い協会けんぽ高知支部と連携した、事業所へのアプローチの強化
- リスクのある壮年期男性を医療につなぐための健診機関と連携した健診当日のアプローチの強化

政策目標

要介護3以上の方の在宅率（グループホームなど居住系サービス含む）

R4 43%→ R9 50%※

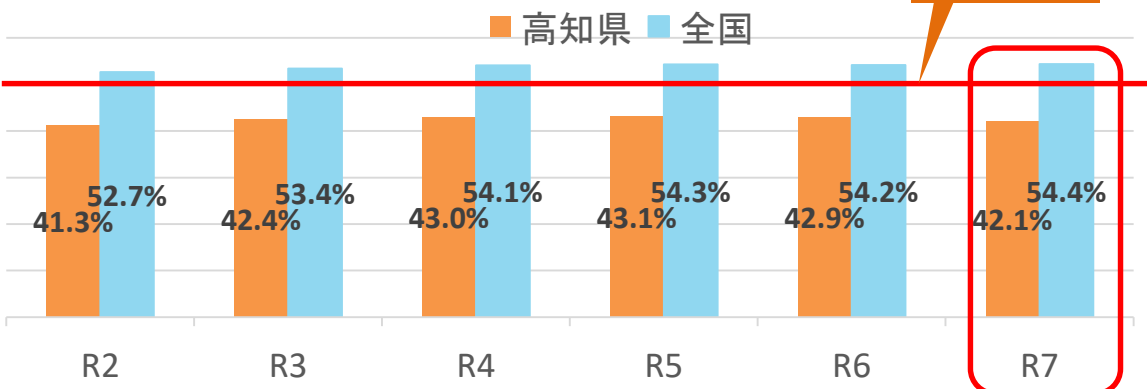
※長期療養や介護が必要となった場合に希望する療養場所の割合（R3県民世論調査結果）を参考に50%と設定

評価

D

要介護3以上の方の在宅率はR2から上昇傾向にあったが、R6以降は伸び悩んでおり、R9目標値の50%には届かない見込み

【要介護3以上の方の在宅率 R2～R7推移】



出典：厚生労働省 介護保険事業状況報告を基に算出

分析

1 要介護3以上の在宅サービス・介護施設入所・未利用(入院等)割合

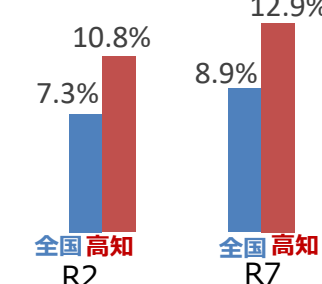
		R3		R5		R7	
高知	要介護3以上	18,417人		18,018人		17,459人	
	在宅サービス	7,809人	42.4%	7,759人	43.1%	7,343人	42.1%
	介護施設入所	7,101人	38.6%	7,017人	38.9%	7,009人	40.1%
	未利用(入院等)※	3,507人	19.0%	3,241人	18.0%	3,106人	17.8%
全国	要介護3以上	2,369,159人		2,418,627人		2,445,264人	
	在宅サービス	1,263,979人	53.4%	1,313,224人	54.3%	1,330,471人	54.4%
	介護施設入所	814,087人	34.4%	833,553人	34.5%	834,863人	34.1%
	未利用(入院等)※	291,093人	12.3%	271,850人	11.2%	279,931人	11.4%

※要介護3以上から、在宅サービスと介護施設入所を除いて算出した推測値

高知県の独居世帯(75歳以上)
・R2：34,004世帯
・R7：39,459世帯
(+5,455世帯)

<参考>

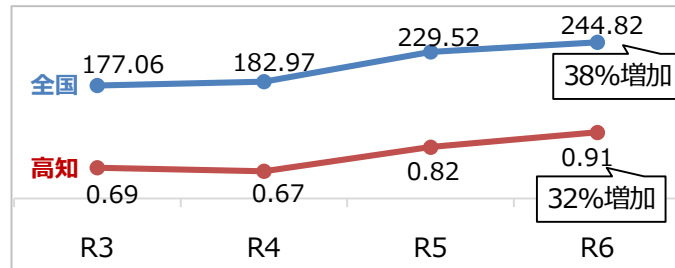
独居率(75歳以上)



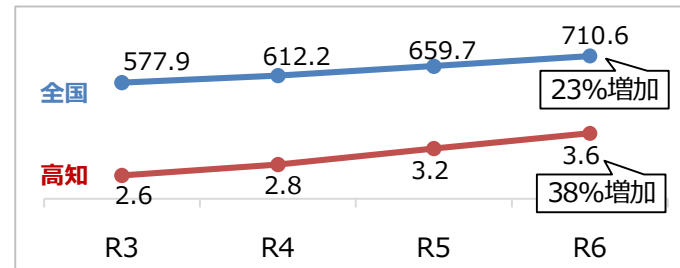
全国の約1.4倍

2 在宅医療サービス

①訪問診療：1ヶ月提供回数(万回)



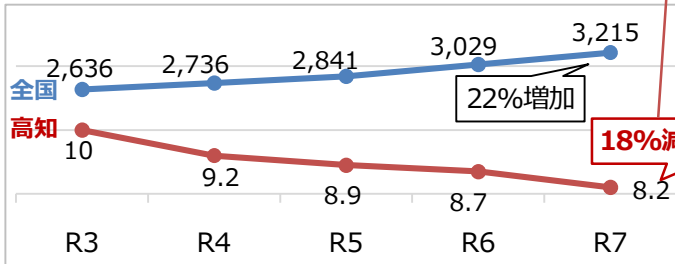
②訪問看護(介護保険)：1ヶ月提供回数(万回)



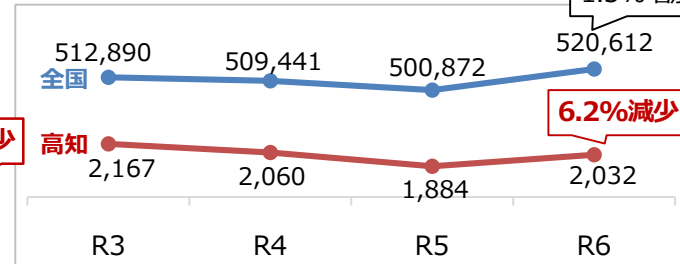
○在宅医療サービス(訪問診療、訪問看護)の提供回数は、全国・本県ともに増加

3 訪問介護サービス

①訪問介護：1ヶ月提供回数(万回)



②訪問介護従事者数(人)

R3 → R7：提供回数比較
・県内市部：▲16.3%
・県内町村部：▲24.7%

○訪問介護サービスの供給は、人材不足等により減少傾向

⇒ 特に町村部では、市部と比べてサービス提供効率の悪さなどから提供回数が減少

4 分析

①要介護3以上の要介護者の方が在宅療養を行うには、医療のみならず生活支援を担う介護サービスが重要となるが、中山間地域等における供給が不足している

※訪問看護等の供給増加により、在宅率の減少を一定食い止めることができていると推測

②現時点では医療機関という受け皿があるが、今後病床が減少する可能性もあり、将来的な在宅医療需要に対応できる体制の構築が必要

バージョンアップの方向性

①介護サービス提供体制の確保

○中山間地域等における訪問介護サービス提供体制の確保

- ・訪問介護事業者への経営改善支援（専門家派遣によるアドバイス・申請代行など）
- ・中山間地域の高齢者住まい対策の推進（高齢者シェアハウスのモデル取組など）

○福祉・介護人材の確保と介護現場の生産性の向上

- ・小中学生への介護の仕事の魅力発信の強化（デジタル技術を活用した働き方の発信など）
- ・外国人介護人材の定着促進（外国人材指導者のレベルアップ、外国人材への家賃補助など）

②東部地域多機能支援施設を活用した在宅医療・福祉サービスの提供体制の充実

③地域医療構想の推進

将来の在宅医療需要を見据えつつ、地域の医療・介護資源の実情に応じた在宅医療提供体制の構築について検討（地域ごとに柔軟に区域を設定し、関係者で協議）

全国に比べ在宅サービスが少なく、施設入所・入院が多い状況である。要因として、在宅サービスの供給不足があるのではないかと仮定し、検証する

政策目標

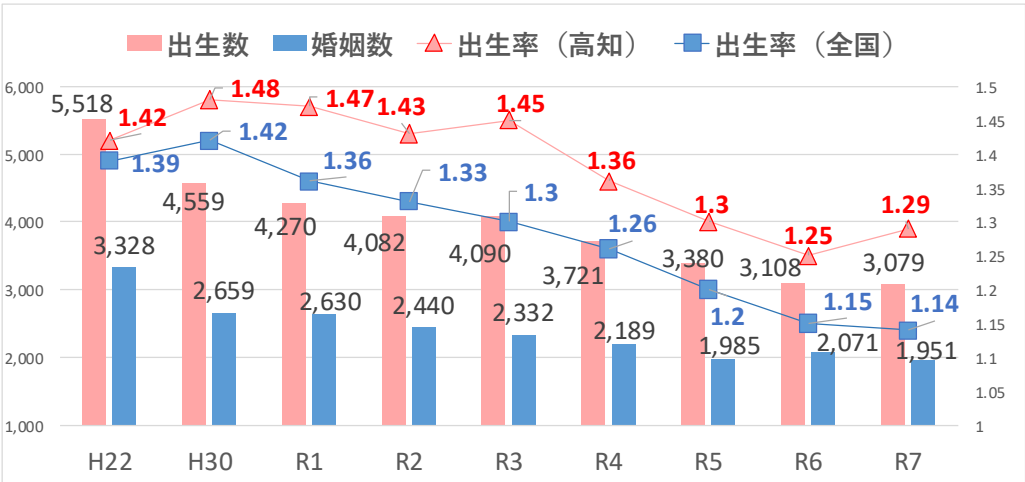
①安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会になっている
R4 22% → R9 50%

②出生数 R4 3,721人→ R9 4,200人

評価

D ①R7は26.1%（確定値）であり、やや上昇したが、R9の目標には届いていない。
②R7は3,079人と減少が続いており、R9の目標には届いていない。

若い世代における出会いの機会の更なる創出に加え、結婚や出産、子育てに対する不安感の解消に向けた施策の強化が必要。



主な目標の達成状況

1) 少子化対策の充実・強化
婚姻件数

評価		
C	婚姻件数は前年と同水準の見込で、目標達成は厳しい状況。 ※R8目標値は2,412組	
	R4	R9目標値
	2,189組	2,500組

マッチング交際成立組数

評価		
S	マッチング交際成立組数は、前年から大幅に増加し、目標を達成する見込み。※R8目標値は263組	
	R4	R9目標値
	151組	300組

県内企業における男性の育児休業取得率

評価		
A	男性の育児休業取得率は増加しており、目標達成が見込める状況。 ※R7目標値は50.0%	
	R4	R9目標値
	28.7%	64%

若い世代のニーズに応えた出会いの機会拡充や男性育休に向けた職場環境整備への支援の充実が必要。

2) 子育てしやすい地域づくり

妊娠・出産について満足している者の割合
(3・4か月児)

評価		
A	妊娠・出産に満足している者の割合は上昇している。 ※R8目標値は85%	
	※R9目標値に対する達成度	
	R4	R9目標値
	84.7%	85%

産後ケア事業利用率

評価		
S	産後ケア事業の利用率は目標を超えて上昇している。 ※R7目標値は56%	
	算出方法：宿泊型・通所型・訪問型の各利用人数の合計／出生数	
	R4	R9目標値
	14.9%	60% 80% (+20%)

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実が必要。

現状と課題

①出会いの機会の拡充／②結婚支援の取組強化

- ・イベント参加者数やマッチング交際成立数等は増加傾向にあるが、婚姻件数のKPI達成に向けては、これまでの施策の検証を踏まえ、出会いから結婚までの各フェーズに合わせた効果的な施策の展開が必要
- ・近年の若者のニーズを踏まえ、タイムパフォーマンスを重視して相手を探したい若者を対象とした事業のさらなる強化が必要

③ライフデザイン支援の推進

- ・若者の将来に向けた不安を軽減し、自分らしい人生が選択できるよう引き続き後押しすることが必要

④男性育休の取得促進

- ・男性の育休取得率は年度目標（50%）を超えて推移しており、これまでの取り組みの成果が現れている。一方で、上昇幅は緩やかになっていることから、小規模事業者への支援等による裾野の拡大が必要。合わせて、事業者の取組の実効性を高めることが必要。

⑤理想の出生数をかなえる施策の推進／⑥住民参加型の子育てしやすい地域づくり

- ・産後ケア事業の利用率は上昇しているが、市町村等によって産後ケア事業の利用料・申請方法等が異なっているため、利用者の利便性の向上を図ることが必要
- ・屋内の子どもの遊び場など、子育てしやすい環境整備の更なる充実が必要

バージョンアップの方向性

①出会いの機会の拡充

- 100人規模の参加者が専用アプリでお相手を探すことができるイベントの拡充（2回→4回）
- ・マッチングアプリの利用促進に向けたアプリ利用料等の助成、当該助成対象者に対する県マッチングシステム会員への入会登録の促進

②結婚支援の取組強化

- マッチングサイトの相互マッチング促進に向けた結婚相談所への入会登録料の助成

③ライフデザイン支援の推進

- 高校生を対象としたライフデザイン講座の拡充（3校→5校）など

④男性育休の取得促進

- ・小規模事業者に対する支援の拡充
- ・男性育休推進企業に上位カテゴリーを新設し、支援を拡充（「男性育休100%宣言」の実施等を要件）

⑤理想の出生数をかなえる施策の推進

- ・産後ケア事業の利用料・申請方法等の標準化に向けて市町村等との協議を継続

⑥住民参加型の子育てしやすい地域づくり

- ・屋内の子どもの遊び場など、子育てしやすい環境整備の助成事業の対象に市町村を追加

政策目標		主な目標の達成状況																															
<div>孤独を感じる人の割合</div> <div>R4 20.7%（全国値） ↓ R9 10%（昨年度上方修正17%→10%）</div>		<div>多機関協働による支援につながったケース件数</div>																															
<div>評価</div> <div>B</div> <div>R8県民世論調査では15.7%(昨年:14.4%)となり、県内で孤独を感じる人の割合は昨年よりやや上昇し、目標には届いていない。 ※R8目標値は13.5%</div>		<div>評価</div> <div>B</div> <div>多機関協働による支援が広がりつつあるが、目標達成は厳しい見込み。 ※R8目標値は145件</div>																															
<div>孤独を感じる人の割合の推移（高知県）</div> <div><table><thead><tr><th>年度</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>R6</td><td>13.9%</td></tr><tr><td>R7</td><td>14.4%</td></tr><tr><td>R8</td><td>15.7%</td></tr></tbody></table></div>		年度	割合	R6	13.9%	R7	14.4%	R8	15.7%	<table><thead><tr><th>R6</th><th>R8（見込）</th><th>R9目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>96</td><td>124</td><td>165</td></tr></tbody></table>		R6	R8（見込）	R9目標値	96	124	165																
年度	割合																																
R6	13.9%																																
R7	14.4%																																
R8	15.7%																																
R6	R8（見込）	R9目標値																															
96	124	165																															
<div>地域活動への参加状況別 孤独感と支え合いの実感（高知県／R8）</div> <div><table><thead><tr><th>参加状況</th><th>回答者数（右軸）</th><th>孤独を感じる人の割合（左軸）</th><th>地域の支え合いの力が弱まっていると感じる人の割合（左軸）</th></tr></thead><tbody><tr><td>積極的に参加（95人）</td><td>95</td><td>5.4%</td><td>40.2%</td></tr><tr><td>積極的ではないが参加（391人）</td><td>391</td><td>8.7%</td><td>42.5%</td></tr><tr><td>頼まれたら時々参加（295人）</td><td>295</td><td>11.9%</td><td>44.8%</td></tr><tr><td>ほとんど参加しない（372人）</td><td>372</td><td>18.3%</td><td>45.6%</td></tr><tr><td>全く参加していない（454人）</td><td>454</td><td>24.6%</td><td>49.4%</td></tr></tbody></table></div>		参加状況	回答者数（右軸）	孤独を感じる人の割合（左軸）	地域の支え合いの力が弱まっていると感じる人の割合（左軸）	積極的に参加（95人）	95	5.4%	40.2%	積極的ではないが参加（391人）	391	8.7%	42.5%	頼まれたら時々参加（295人）	295	11.9%	44.8%	ほとんど参加しない（372人）	372	18.3%	45.6%	全く参加していない（454人）	454	24.6%	49.4%	<div>地域の支え合いの力が弱まっていると感じる人の割合</div> <div>評価</div> <div>S</div> <div>R6に目標を達成して以降横ばい（R7:41.7%） ※R8目標値は50%以下</div> <table><thead><tr><th>R3</th><th>R8</th><th>R9目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>53.9%</td><td>45.3%</td><td>50%以下</td></tr></tbody></table>		R3	R8	R9目標値	53.9%	45.3%	50%以下
参加状況	回答者数（右軸）	孤独を感じる人の割合（左軸）	地域の支え合いの力が弱まっていると感じる人の割合（左軸）																														
積極的に参加（95人）	95	5.4%	40.2%																														
積極的ではないが参加（391人）	391	8.7%	42.5%																														
頼まれたら時々参加（295人）	295	11.9%	44.8%																														
ほとんど参加しない（372人）	372	18.3%	45.6%																														
全く参加していない（454人）	454	24.6%	49.4%																														
R3	R8	R9目標値																															
53.9%	45.3%	50%以下																															
<div><分析></div> <div>○地域活動に参加していない人ほど孤独を感じる割合が高い。</div> <div>○地域活動に参加していない人ほど、地域の支え合いの力が弱まっていると感じる割合も高い（積極的に参加40.2%→全く参加していない49.4%）。</div>		<div>地域活動参加率</div> <div>評価</div> <div>B</div> <div>長期的な減少に歯止めがかかっているが、目標には届いていない（H21:73.5%→R6:43%→R7:48.3%） ※R8目標値は50%</div> <table><thead><tr><th>R5</th><th>R8</th><th>R9目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>43.2%</td><td>48.1%</td><td>50%</td></tr></tbody></table>		R5	R8	R9目標値	43.2%	48.1%	50%																								
R5	R8	R9目標値																															
43.2%	48.1%	50%																															

現状と課題	バージョンアップの方向性
<div>○「高知型地域共生社会」の実現に向け、今以上に地域活動への参加を促すなど、地域や人とのつながりを強めていくことが必要</div> <div>○地域とのつながりが途切れ、自ら支援を求めにくい人を早期に把握し、支援につなげるための体制整備をさらに進めることが必要</div> <div>行政主体の「たて糸」</div> <div>○包括的な支援体制の整備が求められている中で、重層事業の交付基準額の減少や交付金事務の負担増加の懸念から、実施市町村の拡大が見込めない（R8：17市町村）</div> <div>○重層事業の実施の有無に関わらず、市町村において包括的な体制整備が進むよう、課題に応じた伴走支援が必要</div> <div>地域主体の「よこ糸」</div> <div>○地域や人と人とのつながりを強めていくためには、多様な主体による活動の創出と、防災を含む平時からのつながりづくりが必要</div>	<div>バージョンアップの方向性</div> <div>（１）多機関協働型の包括的な支援体制づくり（たて糸）</div> <div> <div>拡</div> ○県社協と連携した後方支援（複合的な課題に対応するための支援会議の設置拡大に向けた取組、多分野や市町村同士の連携促進による支援者支援など） </div> <div> <div>新</div> ○平時からの福祉と防災の連携体制づくりに向けた、県及び市町村の合同研修会を実施 </div> <div>（２）「つながり」を実感できる地域づくり（よこ糸）</div> <div>① 人と人とのつながりの再生に向けた支援ネットワークづくり</div> <div> ○高知家地域共生社会推進宣言企業・団体の活動の活性化 ➤新たな地域活動の創出等に取り組む宣言企業・団体を支援 </div> <div> <div>拡</div> ○要配慮者等の防災活動等への参加が進むよう、地域福祉計画への位置づけを市町村へ働きかけ </div> <div>② 県民の理解促進と参画意識の醸成</div> <div>○ポータルサイト等を通じた地域活動の事例紹介</div> <div> </div>